



暖かい表情の中山人形
秋田県横手市の朝市は長い歴史を持っている。野菜類や漬物、かまぼこなど自家製品の品々を粗末な台の上に並べて売っている。そんな中にまじって、かわいらしい土人形も売られているが、その人形には、おもわず手をさしのべたくなるような暖かさがある。これが中山人形の大きな特色である。

中山人形は、ここ横手市から西に約五キロ入った平鹿郡中山で生まれる。鳥海山の見えぬこの村で、人形づくりは情熱をわかす福渡さんは、ひとり中山人形の伝統を守っている。

「風土と人」東北の玩具展

～つなぐ玩具、はじまる玩具～
会期：2021.5.25[火]～6.6[日] ※5.31[月] 店休
会場：世界のかごカゴアミドリ [営業時間 10:30-17:00]

道具としての玩具の役割

カゴアミドリで初めてとなる「郷土玩具」をテーマにした企画展を開催します。

東北地方は、その土地ならではのかが各地に存在する、かごの宝庫。しばしば足を運ぶなかで、郷土玩具を目にする機会も多くあったのですが、これまで玩具といえば、飾っておくもの、見て楽しむだけのものと思っていました。

しかしある時、一つの玩具の誕生ストーリーについて伺う機会がありました。それを知ったとき、玩具にはその土地の風土や時代、人の暮らしに根ざした物語があり、過去と今、人と人をつなぐ「道具」としての役割もあるように思いました。

ここから大人までひきつける玩具は、世代を超えたコミュニケーションツール。将来、地元につながる昔話を孫に聞かせてあげよう！ そんな目を心待ちに、絵本代わりとして本棚に飾っておいてもよいかもしれない、そんなことを想像しながら……。

東北各地の伝統的な玩具を取り扱うMUTOさんと、さまざまなきっかけで郷土玩具づくりをはじめた東北の若手作家さん達の協力により、新旧の郷土玩具が一同に並びます。東北の風土と人のあいだで生まれた、一つ一つの物語をぜひ探してみてください。

東北の酒と玩具 MUTO (秋田県・大館市)

2019年オープン東北の酒と玩具を扱う店。武蔵純彦 / 北国生活研究所 (一級建築士事務所) と佐藤孔代 / yourwear (ニットブランド) が東北各地の伝統的な手法で作られた玩具に魅せられ、それらを紹介する場をもちたいとの思いからスタートした。二足の草鞋を履きながら、東北の風土、文化とともにある「これからの生活」を模索中。【出品予定工房】・高谷下川原焼土人形製陶所 (土人形 / 青森県)・小南三郎工芸 (こけし / 秋田県)・佐々孝工房 (土人形 / 岩手県)・本郷だるま屋 (張子 / 宮城県)・橋本広司民芸 (張子 / 福島県)



石川美祈子 (こけし工人)



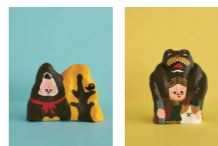
1979年、青森県弘前市生まれ。雑誌「こけし時代」で見た今更のこけしに感銘を受ける。津軽こけし館での勤務を経て、2015年より今更に弟子入り。現在も今更に学びながら、弘前にてこけしを制作する。

真坂歩 (真坂人形師 | マサカ商店店主)



1994年、秋田県秋田市生まれ、ずっと秋田育ち。大学在学中、地元の郷土玩具をリサーチしたことをきっかけに、真坂人形の制作を開始。2019年、2020年秋田市で個展を開催。マサカ商店の屋号で販売も手がけている。

澁谷和之 (百目木人形 | 澁谷デザイン事務所)



1980年、秋田県美郷町生まれ。東京での広告代理店勤務を経て、2009年に秋田で「澁谷デザイン事務所」として独立。2017年、集落の言い伝えや歴史などを形にした「百目木(どめき)人形」の制作を始める。

【お客様へお願い】
会期中の企画展スペースは、6名様までのご入場とさせていただきます。ご来店時は、マスクの着用、アルコール消毒のご協力をお願いします。新型コロナウイルスの感染状況により、会期など変更になる可能性があります。詳しくはホームページ「https://kagoami.com/」をご覧ください。



住所：〒186-0005 東京都国立市西 2-19-2 第一村上ビル2F ☎042-505-6563
営業日：火～日曜日 [月曜定休] 営業時間：10:30-17:00

<https://kagoami.com/>

